

「にっこり安心プラン（第6次宇都宮市高齢者保健福祉計画・
第5期宇都宮市介護保険事業計画）」の進捗状況について

◎ 趣 旨

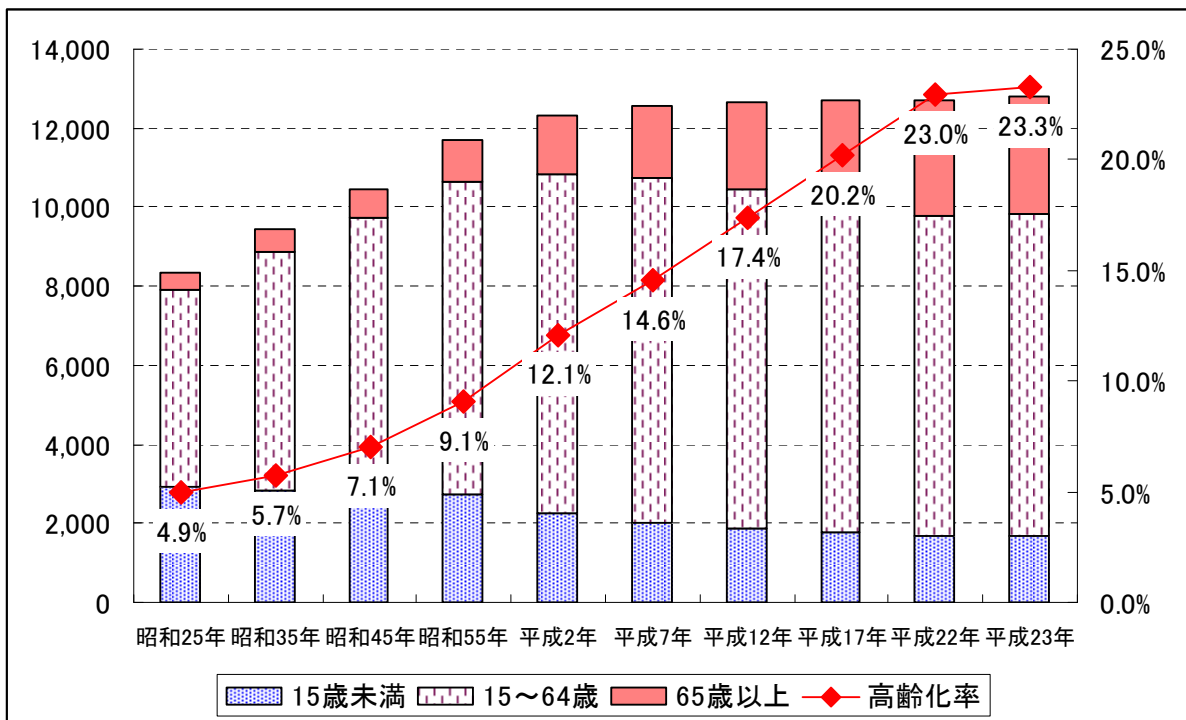
本市では、平成24年3月に策定した「にっこり安心プラン（第6次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第5期宇都宮市介護保険事業計画）」（計画期間：平成24～26年度）に基づき、4つの基本目標を定め計画的に施策事業の実施に取り組んでおり、その進捗状況について取りまとめたことから報告するもの。

1 高齢化の現状と課題

(1) 我が国の高齢化の現状（平成23年10月1日現在）

- ・ 総人口 1億2,780万人
- ・ 高齢者人口（65歳以上） 2,975万人
- ・ 高齢化率（65歳以上） 23.3%

〔 65～74歳の高齢者人口：1,504万人 総人口に占める割合11.8% 〕
〔 75歳以上の高齢者人口：1,471万人 総人口に占める割合11.5% 〕

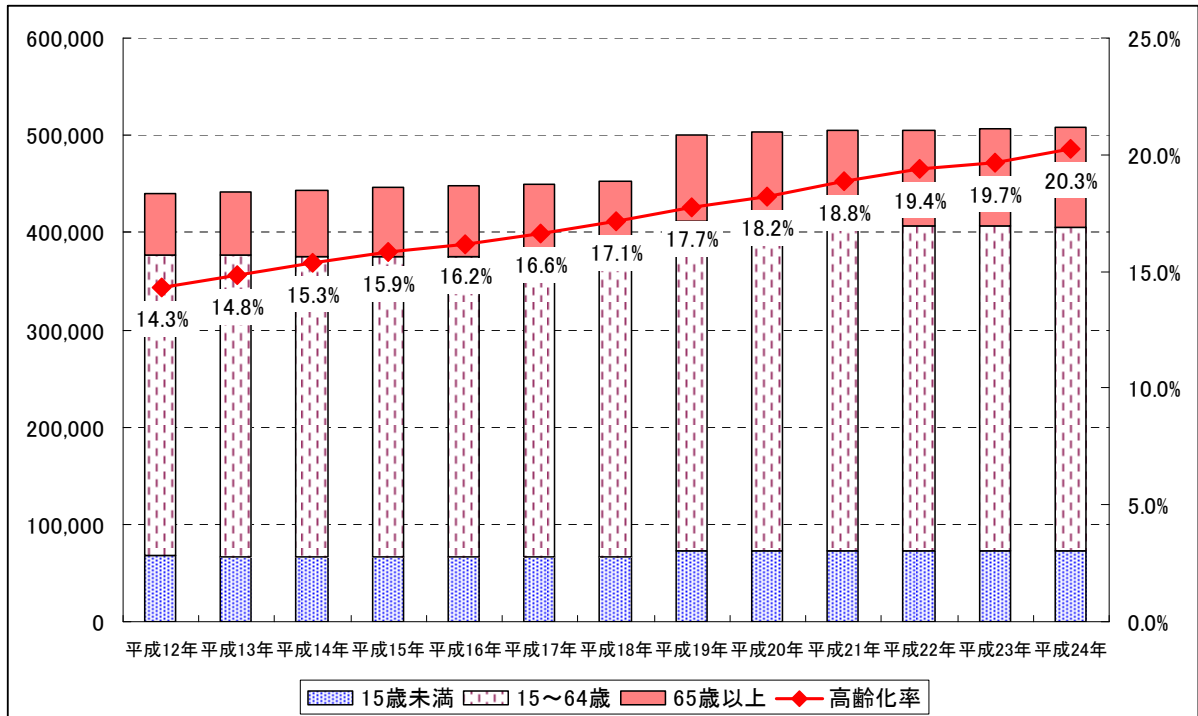


各年10月1日現在。総務省「人口推計」より作成

(2) 本市の高齢化の現状（平成24年3月末日現在）

- ・ 本市の人口 50万7,561人
- ・ 高齢者人口（65歳以上） 10万2,878人
- ・ 高齢化率（65歳以上） 20.3%

〔 65～74歳の高齢者人口：5万5,140人 総人口に占める割合 10.9% 〕
 〔 75歳以上の高齢者人口：4万7,738人 総人口に占める割合 9.4% 〕



各年3月末日。宇都宮市「統計データバンク（年齢別人口）」より作成

【参考】中核市（49市）の高齢化率（平成23年3月31日現在）

順位	都市名	高齢化率
1	豊田市	17.1%
2	岡崎市	17.9%
3	西宮市	19.3%
4	宇都宮市	19.7%
5	船橋市	19.8%
⋮	⋮	⋮
47	旭川市	25.7%
48	函館市	27.3%
49	下関市	28.2%

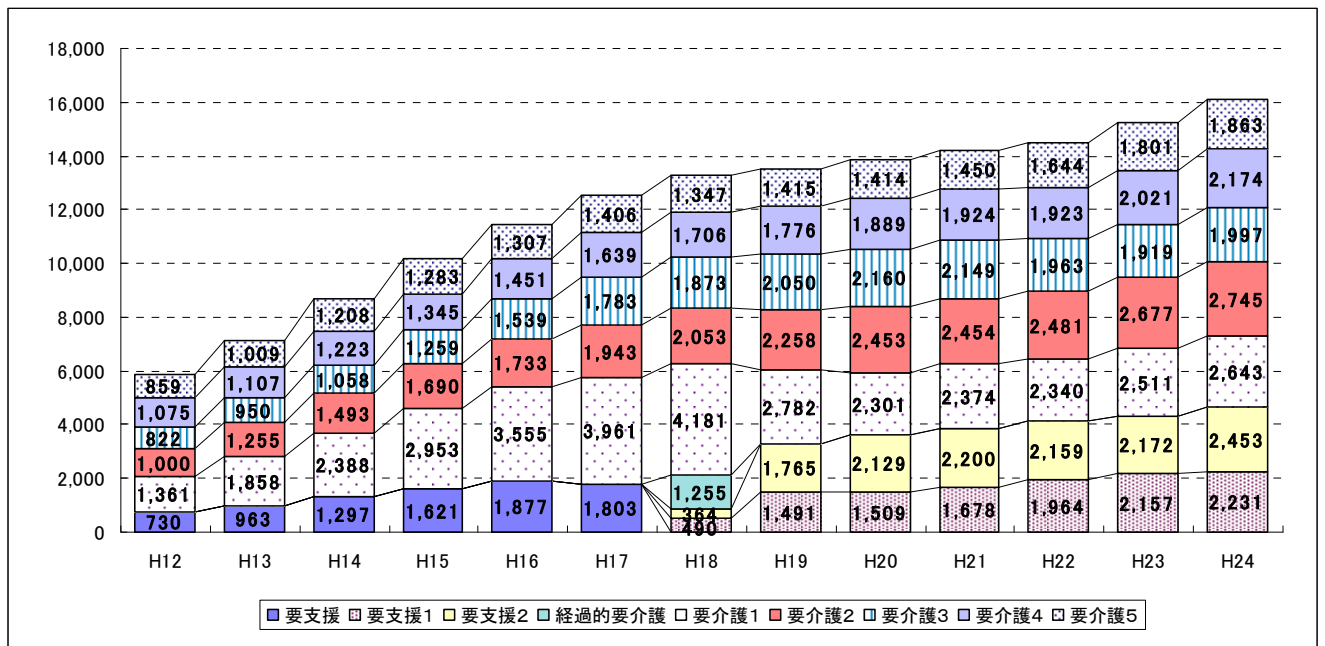
宇都宮市「統計データバンク（中核市との行政水準比較）」より作成

(3) 介護保険における要介護（要支援）認定者の状況

- ・ 全国：539万人（平成24年6月末）
第1号被保険者（65歳以上）の17.5%が要介護（要支援）認定者
- ・ 本市：1万6,106人（平成24年6月末）
第1号被保険者（65歳以上）の15.0%が要介護（要支援）認定者

(参考) 宇都宮市における要介護・要支援認定者数の推移（各年6月末現在）

	要支援	要支援1	要支援2	経過的要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成12年度	730	-	-	-	1,361	1,000	822	1,075	859	5,847
平成13年度	963	-	-	-	1,858	1,255	950	1,107	1,009	7,142
平成14年度	1,297	-	-	-	2,388	1,493	1,058	1,223	1,208	8,667
平成15年度	1,621	-	-	-	2,953	1,690	1,259	1,345	1,283	10,151
平成16年度	1,877	-	-	-	3,555	1,733	1,539	1,451	1,307	11,462
平成17年度	1,803	-	-	-	3,961	1,943	1,783	1,639	1,406	12,535
平成18年度	-	490	364	1,255	4,181	2,053	1,873	1,706	1,347	13,269
平成19年度	-	1,491	1,765	-	2,782	2,258	2,050	1,776	1,415	13,537
平成20年度	-	1,509	2,129	-	2,301	2,453	2,160	1,889	1,414	13,855
平成21年度	-	1,678	2,200	-	2,374	2,454	2,149	1,924	1,450	14,229
平成22年度	-	1,964	2,159	-	2,340	2,481	1,963	1,923	1,644	14,474
平成23年度	-	2,157	2,172	-	2,511	2,677	1,919	2,021	1,801	15,258
平成24年度	-	2,231	2,453	-	2,643	2,745	1,997	2,174	1,863	16,106



「介護保険事業状況報告」より作成

2 「にっこり安心プラン」における施策・主要事業の取組状況

■ 基本目標1 「みんながつながり、支えあう地域社会の実現」

高齢者自身はもとより，その家族が地域コミュニティの中で孤立することなく，地域との連携や周囲の支えのもと，住み慣れた地域での生活を続けることができる，「みんながつながり，支えあう地域社会の実現」を目指します。

1 施策・主要事業の取組状況

(1) 地域保健・福祉体制の充実

【施策】

- ・ 地域の総合的なネットワーク機能の充実，ボランティア活動・市民活動の推進

【主要事業】

◎ 地域会議等を活用した地域ネットワークの充実

地域包括支援センターを中心に，地域の自治会役員，民生委員・児童委員，地区社協などを委員とする地域会議を活用しながら，関係機関や団体との緊密な連携のもと，高齢者の暮らしを支える，地域の総合的なネットワーク機能の充実を図る。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (推計値)	平成26年度 (目標値)
地域包括支援センターの認知度 (65歳以上高齢者)	%	67.2%	66.5%(*)	80.0%

* 「第45回市政に関する世論調査結果(60歳以上)」から推計

(2) ユニバーサルデザインの推進

【施策】

- ・ 意識のバリアフリーの推進，公共施設などのバリアフリー化の推進

【主要事業】

○ 敬老会の開催支援など敬老のこころを育む取組の推進

敬老会の開催などにより，多年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬愛し長寿を祝うとともに，市民が高齢者の福祉について関心と理解を深め，かつ，高齢者自らの健康の向上に努める意欲を高める。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
敬老会招待者数	人	48,987人	50,935人	54,400人
祝金対象者	人	4,483人	4,706人	5,217人

【◎・・・成果指標対象事業 ○・・・主要事業】

(3) 安全で安心な暮らしの確保

【施策】

- ・ 地域の見守りと支援体制の充実，安全で安心な地域生活の確保

【主要事業】

○ ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークシステムの推進

- ・ 見守りが必要な高齢者のうち，高齢者本人が地域での見守りを希望する場合，地域包括支援センターが単位自治会ごとに見守り活動会議を開催。
- ・ 高齢者本人が地域での見守りを拒否している場合には，地域包括支援センターによる安否確認を実施。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
見守り活動会議を開催した 単位自治会の割合	%	64.0%	65.0%	74.0%
安否確認実施回数	回	1,085回	1,300回	2,200回

◎ 災害時要援護者支援事業の推進

近年，集中豪雨や地震等の自然災害により，ひとり暮らし高齢者などの「災害時要援護者」の被災が相次いでいることから，本市における要援護者に対する支援体制を整備し，風水害や地震等の自然災害が発生した場合に，要援護者に対し，迅速かつ的確な対応を図る。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
災害時要援護者支援班設置地区数	地区	30地区	31地区	39地区

○ 高齢者等を対象とした防犯に対する広報・啓発の実施

市民が防犯活動の必要性や重要性を認識するとともに，必要な情報を取得できるよう，見守りを必要とする高齢者及び障がい者を対象とした個別世帯訪問による啓発活動の実施により情報の提供を図る。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
見守りを必要とする高齢者等への個別世帯訪問による啓発活動	世帯	1,460世帯	4,060世帯	9,700世帯

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

(4) 高齢者にやさしい居住環境の整備

【施策】

- ・ 高齢者の多様な住まいの支援，居住環境に関する相談機能の充実

【主要事業】

- サービス付き高齢者向け住宅の適切な整備

- サービス付き高齢者向け住宅の概要

バリアフリー構造や一定の面積・設備基準を満たした住宅において，安否確認等のサービスを受けることができ，また，敷金並びに家賃及びサービスの対価以外の権利金が不要である等，高齢者の方々の安心した日常生活に配慮された住宅

(参考) 本市におけるサービス付き高齢者向け住宅の状況

- ・ 登録(管理)戸数：15棟 495戸 (平成25年2月末現在)

No.	住宅名	所在地	戸数
1	トレモンテ陽東	陽東2丁目14-4	35
2	シロアムマンション花	一番町3-17	59
3	サンフレンズ宇都宮	元今泉7丁目19-1	8
4	さくらがおかケアセンター	宝木町二丁目2570-12	20
5	あさひ倶楽部	大和2丁目12-23	31
6	とちのき鶴田	鶴田町231-20	52
7	とちのき上戸祭	上戸祭町3004-2	40
8	さくらがおか	西原町3534-2	20
9	フォレストいこい	川田町1020-9	36
10	西大寛	大寛2丁目1-7	17
11	サポネット越戸	越戸111-1	25
12	ゴールドエイジビオス	下岡本町2108-60	32
13	ふるさとホーム宇都宮鶴田	鶴田2丁目19-1, -2	30
14	マドールガーデン「あかり」	駒生町1219	50
15	えがお	宝木本町2062-2	36

出典：高齢者サービスのしおり（市高齢福祉課作成）

2 今年度の取組に対する評価と今後の取組

(1) 地域保健・福祉対策の充実

- ・ 地域ネットワークの中心となる地域包括支援センターの認知度については、66.5%（世論調査結果／60歳以上）となっており、より一層の周知活動が必要である。

【今後の取組】

地域包括支援センターが、介護保険事業者・医療機関・民生委員等との連携強化を図り、効果的に事業を実施できるよう支援するとともに、地域包括支援センターの認知度の向上を図るため、より一層の周知活動を行う。

(2) ユニバーサルデザインの推進

- ・ 高齢者に対する理解と思いやりを育むため、意識啓発に関する事業として「敬老会」の開催支援に取り組み、平成23年度の招待者数に対し、平成24年度については約2,000人増加しており、目標値に対し順調に推移している。

【今後の取組】

より多くの高齢者が敬老会に参加してもらえるよう、関係機関からの意見なども伺いながら、効果的な支援のあり方について検討を進める。

(3) 安全で安心な暮らしの確保

- ・ ひとり暮らしの高齢者などへの見守りや災害時に高齢者や障がい者などの要援護者を支援するため、災害時要援護者支援事業や高齢者等を対象とした防犯に対する広報・啓発などに取り組み、目標値に対し順調に推移している。

【今後の取組】

災害時要援護者支援事業については、目標値の達成に向け、引き続き、地区支援班未設置地区への設置に取り組む。

(4) 高齢者にやさしい居住環境の整備

- ・ 高齢者の多様な住まいの一部として、サービス付き高齢者向け住宅の整備戸数は増加傾向にあり、施策・主要事業は順調に進んでいる。

【今後の取組】

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が継続できるよう、サービス付き高齢者向け住宅などの住まいに関する情報提供に取り組む。

■ 基本目標2 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

高齢者一人ひとりが、自主・自発的に社会参加活動や継続的な健康づくりや介護予防に取り組むことにより健康寿命を延ばし、趣味などの楽しみや、友人との交流などにより生きがいを感じることで、「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」を目指します。

1 施策・主要事業の取組状況

(1) 健康づくりによる健康寿命の延伸

【施策】

- ・ 健康づくり事業の推進

【主要事業】

- 健康づくり実践活動の推進

健康づくり推進員が、**地域での健康づくりのリーダー**として、地域住民に対して健康づくりに関する意識啓発や情報提供を行うとともに、行政とのパイプ役となることにより、「地域主体」の健康づくりを推進する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
健康づくり推進員養成者数	人	1,061人	1,118人	1,300人

(2) 介護予防の推進

【施策】

- ・ 介護予防の効果的な展開，きめ細かな介護予防の展開

【主要事業】

- 介護予防の成果把握に向けた取組の推進 **【新規】**・・・**参考資料1**

- ◎ はつらつ教室などの開催

介護予防に関する知識の普及・啓発や、簡単な運動もしくは認知症予防のための頭と身体を使った体操等の実施のほか、地域の社会資源の紹介等により、高齢者ができる限り介護状態に陥ることを予防し、健康でいきいきとした生活が送れるよう支援する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	1,220人	1,100人	1,930人

【◎・・・成果指標対象事業 ○・・・主要事業】

◎ いきいき健康サッカー教室，いきいき健康自転車教室の開催

いきいき健康サッカー教室や自転車教室を通じて，高齢者向けのストレッチ運動の実技指導及びサッカーや自転車に関する知識や情報の提供を行うことにより，身体を動かすことの楽しさを学ぶことで活動的で生きがいのある生活を送ることができるよう支援する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	169人	132人	240人

◎ 通所型二次予防事業の充実

げんき応援高齢者が，要支援・要介護状態に移行することを予防するために，「運動器の機能向上」，「栄養改善」，「口腔機能の向上」，「認知症予防」等のプログラムを提供することで，生活機能の向上を図り，住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	520人	457人	810人

◎ 訪問型二次予防事業の実施

げんき応援高齢者に対し，家庭訪問により必要な保健指導を行うことで，生活機能の向上を図り，住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	92人	75人	100人

◎ 地域での介護予防活動への支援【新規】

高齢者が地域において自主的に介護予防に資する活動を継続できるよう，介護予防教室や通所型介護予防事業の教室終了者などで組織された自主的に地域で活動しているグループを支援する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
参加実人数	人	—	1,320人	2,640

【◎・・・成果指標対象事業 ○・・・主要事業】

(3) 生きがいつくりの促進

【施策】

- ・ 交流の場、交流機会の提供、学習・スポーツ・芸術の場や機会の提供

【主要事業】

- 老人クラブ活動の育成・支援

宇都宮市老人クラブ連合会の運営及び単位老人クラブの活動を支援することにより、宇都宮市老人クラブ連合会の実施する高齢者の生きがいつくり対策事業の効率的な運営と組織的活動の促進を図る。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
単位老人クラブ数	クラブ	357クラブ	352クラブ	372クラブ
老人クラブ会員数	人	20,490人	20,137人	21,700人

(4) 社会参画の促進

【施策】

- ・ 社会参加活動の環境整備、高齢者の就業支援、高齢者の外出支援の充実

【主要事業】

- 高齢者のライフスタイルに合わせた情報提供や講座等の充実
- キャリアカウンセラーによる専門相談機能の充実

豊富な知識や経験を持ったシニア世代の方が、本市の進めるまちづくりや地域福祉の担い手として一層活躍できるよう、また、第2の人生を健康でいきいきと暮らすことができるよう支援することを目的に、「みやシニア活動センター」において、総合相談や各種講座・交流会等の企画事業の実施、情報提供に取り組む。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
みやシニア活動センター利用者数(累計)	人	2,631人	3,160人	4,200人

- 高齢者外出支援事業の推進【拡充】

70歳以上の高齢者を対象に、年度1回、5,000円相当のバス乗車券購入を助成する「助成事業」のほか、平成24年度から、市の窓口でバス乗車券を受け取ることができる「交付事業」を追加し事業を充実させた。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
バス乗車券利用者数	人	15,775人	19,377人	19,200人

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

2 今年度の取組に対する評価と今後の取組

(1) 健康づくりによる健康寿命の延伸

- ・ 高齢者一人ひとりが、日頃から主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくり推進員の養成に取り組み、今年度、新たに57名を養成し、目標値に対し順調に推移している。

【今後の取組】

高齢者一人ひとりが健康で生きがいを感じることができるよう、継続して事業に取り組む。

(2) 介護予防の推進

- ・ 高齢者自身が主体的に介護予防に取り組めるよう、コミュニティーセンターや保健センター、公民館などの身近な場所で、「はつらつ教室」や「通所型二次予防事業」、「訪問型二次予防事業」などの各種事業に取り組んだが、年度ごとに開催場所を変えて実施しているため、年度ごとの数値にばらつきが生じる結果となっている。
- ・ 今年度から、新たに、高齢者が地域で自主的に介護予防に関する活動を継続できるよう、「地域介護予防活動支援事業」に取り組み、今年度の参加実人数は1,320人を見込んでおり、目標値に対し順調に推移している。

【今後の取組】

- ・ 「通所型二次予防事業」や「訪問型二次予防事業」については、今後とも、二次予防事業対象者に対し、地域包括支援センターと連携を図りながら、事業参加勧奨を行うことで、利用促進に努める。
- ・ はつらつ教室に参加した高齢者が、教室終了後も継続して介護予防活動に取り組めるよう、目標値の達成に向け、引き続き、「地域介護予防活動支援事業」に取り組む。

(3) 生きがいづくりの推進

- ・ 高齢者が地域に住む仲間とともに、健康で生きがいをもって充実した生活が送れるよう、老人クラブ連合会等への支援を通して、老人クラブ活動の活性化及び会員の加入促進に向けた支援に取り組んできたが、単位老人クラブ数、会員数については、平成23年度に対し、平成24年度の実績見込みは微減となっている。

【今後の取組】

老人クラブが、多様化する高齢者のニーズに対応した魅力ある組織となるよう、宇都宮市老人クラブ連合会を通して、活動内容の一層の充実を働きかけていく。

(4) 社会参画の促進

- ・ 高齢者の外出を促進するため、高齢者外出支援事業において、市の窓口でバス乗車券を受け取ることができるよう見直したことなどにより、バス乗車券利用者数が大きく伸びており、利用者の利便性の向上が図られた。

【今後の取組】

- ・ 高齢者の外出を促進するため、引き続き、高齢者外出支援事業に取り組む。
- ・ 高齢者の生きがいづくりや社会参画の促進に向け、清掃ボランティアなどの地域貢献活動や健康づくりなどのグループ活動に対し、ポイントを付与し、日常生活の励みになるよう、貯めたポイントが、買物や市のサービス利用などに使えるような新たな仕組みを検討していく。

■ 基本目標3 「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

高齢者の状況に応じた適切な福祉サービスの提供や、成年後見制度など高齢者の権利を擁護する制度を必要な時に利用することにより、高齢者一人ひとりが誇りを持ち、自分らしい生き方を続けることができる、「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」を目指します。

1 施策・主要事業の取組状況

(1) 適切な福祉サービスの提供

【施策】

- ・ 高齢者のニーズに応じた福祉サービスの提供、介護者への支援

【主要事業】

- 高齢者ホームサポート事業の実施

おおむね65歳以上で、介護認定を受け所得税非課税のひとり暮らし高齢者等に対して、家周りの手入れ(庭・生垣・庭木等)や屋内の整理・整頓など、日常生活上、必要な支援を行う。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
登録者数	人	653人	648人	690人

- 生きがい対応型デイサービス事業の実施

おおむね65歳以上で、介護認定を受けていない、家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等に、専用施設等において「日常動作訓練」や「レクリエーション」等のサービスを提供する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
延利用者数	人	24,777人	24,469人	25,500人

- 緊急通報システム事業の実施

おおむね65歳以上で、虚弱なひとり暮らしの高齢者の方などが、急病等の緊急時に、緊急通報装置を押すことにより、受信センターに通報され、必要に応じて協力員が状況を確認するとともに、消防本部に連絡し、救急車により医療機関に搬送する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
緊急通報システム延利用台数	台	1,017台	1,065台	1,245台

【◎・・・成果指標対象事業 ○・・・主要事業】

○ 食の自立支援（配食サービス）事業

栄養改善が必要な方に、「食」の自立の観点から食関連サービスの利用調整を行ったうえで、訪問による食事サービスを提供する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
登録者数	人	378人	312人	450人

○ 家族介護教室

適切な介護知識や介護技術習得のための講話や講習のほか、介護者の交流のための情報交換や意見交換などの場を提供する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
開催回数	回	60回	56回	63回

(2) 認知症高齢者等対策の充実

【施策】

- ・ 認知症の正しい理解に向けた周知啓発の推進・・・[参考資料2](#)
- ・ 認知症予防の推進
- ・ 早期相談・早期発見・早期診断のための仕組みの構築
- ・ 医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実
- ・ 認知症介護者への支援
- ・ 認知症高齢者やその家族が暮らしやすい地域づくりの推進

【主要事業】

◎ 認知症サポーター・認知症キャラバンメイト養成講座等の開催・支援

多くの方々が認知症についての正しい知識をもつことで、認知症の人に対する理解や対応ができる「認知症高齢者を支える地域づくり」を目的に、「認知症サポーター」を養成する講座の開催支援や、サポーター養成講座の講師役となる「認知症キャラバン・メイト」の活動を支援する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
認知症サポーター数（累計）	人	12,726人	15,100人	23,000人

【◎・・・成果指標対象事業 ○・・・主要事業】

◎ 認知症地域ケアネットワーク会議（仮称）の設置【新規】

既存の地域包括支援センターブロック会議を活用し、宇都宮市医師会の協力のもと、認知症ケアに関する研修及び意見交換会に取り組むことにより、地域包括支援センターを中心に、より一層、医療・介護・福祉が緊密に連携した切れ目のないケア体制の充実を図る。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
設置か所数	か所	—	5か所	5か所

○ 認知症支援医療・介護従事者合同研修会の開催・支援

認知症高齢者やその家族等を地域ぐるみで支える体制づくりを推進するため、医療・介護従事者を対象とした研修の開催・支援。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成26年度 (目標値)
参加者数	人	153人	107人	200人

○ 認知症の人を介護する家族のつどい・交流会の開催

適切な介護知識や介護技術習得のための講話や講習のほか、介護者の交流のための情報交換や意見交換などの場を提供する。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
家族介護教室開催回数	回	60回	56回	63回

○ 認知症の人やその家族を支えるネットワークの充実

認知症高齢者やその家族等を地域ぐるみで支える体制づくりを推進するために、医療・介護・福祉関係者等によるネットワーク会議の設置。

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
ネットワーク会議(仮称)開催回数	回	—	1	4

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

(3) 高齢者の権利擁護及び制度の利用支援

【施策】

- ・ 権利擁護事業の推進と成年後見制度などの利用支援

【主要事業】

- 権利擁護事業の推進 **【新規】**

地域包括支援センターが日々の相談業務を通じて、必要な事業や制度の利用に向けた対応を図るほか、パンフレット等の配布により地域における虐待防止のための普及・啓発活動を実施

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
地域における虐待防止のための普及啓発活動	回	—	39回	39回

2 今年度の取組に対する評価と今後の取組

(1) 適切な福祉サービスの提供

- ・ 高齢者の状態に応じ、適切な福祉サービスの提供を行っているものの、主要事業のうち、指標の数値が微減の状況のものも見られる。
- ・ 高齢者ホームサポート事業は、長期的には増加傾向ではあるものの、平成23年度との比較では微減となっている。
- ・ 生きがい対応型デイサービス事業は、以前は生きがいづくりや閉じこもり防止の手段として選択肢が限られていたが、現在は様々な選択肢があることなどから微減となっている。
- ・ 食の自立支援（配食サービス）事業は、配食サービスに加えホームヘルプやデイサービスなどの食関連サービスと組み合わせて利用するものであるため、平成24年度の事業実績見込みについては減少している。

【今後の取組】

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が続けられるよう、適切な福祉サービスの利用に向け、より一層の周知を行いながら、引き続き高齢者の状態に応じたサービスの提供を行っていく。

(2) 認知症高齢者等対策の充実

- ・ 認知症の人やその家族を支援するサービスの充実を図るため、認知症ケアネットワーク研修・意見交換会などの新規事業を含め、施策・主要事業を概ね順調に実施している。

【今後の取組】

認知症高齢者等対策については、引き続き、認知症の予防から気づき、早期発見と診断、認知症発症後のケアまで切れ目のない支援体制の構築に向けた取り組みを進める。

(3) 高齢者の権利擁護及び制度の利用支援

- ・ 成年後見制度や虐待防止など高齢者の権利を擁護するための取組を進めるため、地域における虐待防止のための普及啓発活動に新たに取り組み、施策・主要事業を概ね順調に実施している。

【今後の取組】

引き続き、高齢者虐待の防止や権利擁護を図るため、虐待防止の普及啓発活動のほか、成年後見制度など権利擁護のための制度の周知や制度の利用に向けた支援を行っていく。

■ 基本目標4 「快適で安全安心な生活の実現」

介護サービスの充実を図るとともに、介護サービスの質の向上に向けた取組を進め、高齢者本人やその家族が安心して利用できる介護保険事業を運営することにより、「介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現」を目指します。

1 施策・主要事業の取組状況

(1) 介護保険事業の充実

【施策・主要事業】

- ・ 介護サービスの提供

ア 主な介護サービスの利用状況

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)
居宅サービス			
訪問介護	回	338,229回	367,110回
訪問看護	回	41,375回	45,661回
通所介護	回	429,065回	460,403回
通所リハビリテーション	回	68,996回	73,382回
短期入所生活介護	日	109,060日	116,585日
施設サービス			
介護老人福祉施設	人	15,641人	16,293人
介護老人保健施設	人	11,720人	11,728人
介護療養型医療施設	人	4,007人	4,151人
地域密着型サービス			
認知症対応型通所介護	回	17,065回	19,255回
小規模多機能型居宅介護	人	1,984人	2,475人
認知症対応型共同生活介護	人	3,445人	3,698人
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人	309人	1,234人
介護予防サービス			
介護予防訪問介護	人	14,286人	14,842人
介護予防訪問看護	回	3,038回	3,326回
介護予防通所介護	人	14,978人	16,421人
介護予防通所リハビリテーション	人	2,717人	2,758人
介護予防地域密着型サービス			
介護予防認知症対応型通所介護	回	14回	38回
介護予防小規模多機能型居宅介護	人	173人	300人
介護予防認知症対応型共同生活介護	人	32人	36人

イ 第5期宇都宮市介護保険事業計画における介護保険施設等整備状況

(ア) 第5期宇都宮市介護保険事業計画における介護保険施設等整備計画

区分	単位	第4期末	第5期介護保険事業計画		
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	整備累計(①+②)	1,616床	1,714床	1,833床	1,833床
	整備数(①+②)	-	98床	119床	0床
広域型 ①	整備累計	1,500床	1,540床	1,630床	1,630床
	整備数	-	40床	90床	0床
地域密着型 ②	整備累計	116床	174床	203床	203床
	整備数	-	58床	29床	0床
介護老人保健施設	整備累計	1,038床	1,038床	1,038床	1,038床
	整備数	-	0床	0床	0床
介護療養型医療施設	整備累計	394床	394床	394床	394床
	整備数	-	0床	0床	0床
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	整備累計	315床	351床	351床	351床
	整備数	-	36床	0床	0床
特定施設入居者生活介護	整備累計	615床	615床	795床	795床
	整備数	-	0床	180床	0床

(イ) 平成24年度における介護保険施設等の整備状況

□ 広域型特別養護老人ホーム【増床分】

- ・ 平成24年度整備分：2施設／40床（1施設：20床） …… 選定終了
- ・ 平成25年度整備分：2施設／40床（1施設：20床） …… 選定終了

□ 広域型特別養護老人ホーム【新設分】

- ・ 平成25年度整備分：1施設／50床 …… 選定終了

□ 地域密着型特別養護老人ホーム【新設】

- ・ 平成24年度整備分：2施設／58床 …… 選定終了

□ 認知症対応型共同生活介護【新設分】

- ・ 平成24年度整備分：2施設／36床（1施設：18床） …… 選定終了

(2) 介護サービスの質の向上

【施策】

- ・ サービスの質の確保・向上
- ・ 介護人材の育成・支援
- ・ 介護保険制度の安定的な運営に向けた取組の推進

【主要事業】

◎ ケアプランに対する助言・指導

利用者の自立支援につながるケアプランであるかなど、より良質で効果的なケアマネジメントが可能となるよう、ケアプランの点検を実施

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
ケアプラン点検数	件	298件	310件	180件

◎ 介護サービス従事者に対する研修会等の実施

介護サービスの資質と専門性を向上させ、提供されるサービスの質の向上を図るため、県や関係機関と連携しながら研修会を実施

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
開催回数	回	5回	7回	9回

○ 介護給付費通知の送付

サービス利用者等が自らサービスの利用状況を確認することで、事業者が誤った保険請求をしないよう、介護給付費通知の送付を実施

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
送付通数	通	10,803通	11,388通	12,000通

○ パンフレットやホームページ等を活用した介護保険制度の周知・啓発

介護サービスの適切な利用を推進するため、介護保険の手引きなどのパンフレットや、ホームページによる介護保険制度の周知・啓発を実施

指標名	単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (年度末見込)	平成26年度 (目標値)
介護保険の手引き作成部数	部	10,000部	12,000部	13,000部

【◎…成果指標対象事業 ○…主要事業】

2 今年度の取組に対する評価と今後の取組

(1) 介護保険事業の充実

- ・ 介護サービスの利用状況は、概ね計画どおり目標に達している。
- ・ 介護保険施設等の整備状況については、計画どおり目標に達している。

【今後の取組】

介護を必要とする方が適切な介護サービスを受けられるよう、引き続き、介護保険施設等の計画的な整備などにより事業の充実を図り、サービスの提供を行っていく。

(2) 介護サービスの質の向上

- ・ ケアプランに対する助言・指導や介護サービス従事者に対する研修会など、施策・主要事業を順調に実施している。

【今後の取組】

介護保険制度の周知・啓発や、介護従事者等に対する研修の実施に取り組むことにより、介護サービスの質の向上に向けた取組を進め、高齢者本人やその家族が安心して利用できる介護保険事業の運営に努める。